

3類型	鉦工業品	通巻番号	7-20-022
地域資源名	タオル	認定日	平成21年2月17日
地域	愛媛県今治市	所管省庁	経済産業省

事業名:タオルの製造技術を活用した特殊織物技術による服飾雑貨の 開発・製造・販売

会社名:株式会社工房織座
連絡先:TEL:0898-55-2564
FAX:0898-55-2584

所在地:愛媛県今治市玉川町鬼原甲55
HP: <http://oriza.jp/>

事業概要(新たな活用の視点)

- ・当地域は、明治19年にタオルの生産を開始して以来、122年の歴史を有する。しかし近年は、海外から安価な製品の流入により、生産量・額、企業数ともに減少している状況にあり、タオル生産技術を活かした高付加価値製品開発への取組みが課題となっている。
- ・昭和初期に稼働していた旧式の着尺一列機織機「豊田式織機」による独自の織り技術の研究の結果、新たな織り技術が確立され、この技術を用いた製品開発に着手した。
- ・旧式織機を活用し、独自の「もじり織り」「よろけもじり織り」「筒織り」という織り技術を用いながら、顧客ターゲット拡大を見据えてデザイン・素材などの面で商品バリエーションを増やしたマフラー、ショール、帽子等服飾雑貨の開発・製造を行う。

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

◆競争力

- ・特殊織物技術を用いて織られた商品は、素材を活かした肌あたりの良さやデザイン性、素材などにおいて優位性を有する。また、昭和初期の織機で製造する点、物語性、希少性といった面で差別化を図る。

◆市場性

- ・マフラー類、帽子類の国内生産・出荷分は、平成18年の工業統計調査によると、合計で9,757百万円の市場である。その中で、環境志向のロハス層や、こだわりの商品を持ちたいという一般の消費者に支持されると考えている。

◆販路

- ・オリジナルブランド戦略を目指し、既存の販売先に加え、首都圏を中心としたセレクトショップや専門店並びに百貨店ルートへの販路の拡大を図る。また、展示会への出展やテストマーケティングにより更なる顧客ニーズの把握を行い、販路の開拓を計画する。



地域資源における関係事業者との連携

- ・織り技術開発は、愛媛県産業技術研究所繊維産業技術センターの技術支援を受ける。
- ・販路開拓及び経営等は、(財)えひめ産業振興財団、(財)今治地域地場産業振興センター、(財)東予産業創造センターの支援を受ける。